



## 2022年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 ナカニシ  
 コード番号 7716 URL <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中西 英一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 鈴木 大介

TEL 0289-64-3380

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	36,100	7.9	11,894	7.0	14,694	30.4	10,208	26.1
2021年12月期第3四半期	33,469	50.2	11,113	117.2	11,266	112.4	8,096	107.9

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 12,869百万円 (50.1%) 2021年12月期第3四半期 8,571百万円 (124.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	118.92	118.63
2021年12月期第3四半期	93.45	93.24

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	100,926	90,726	89.6
2021年12月期	94,460	82,919	87.5

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 90,440百万円 2021年12月期 82,683百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		17.00		20.00	37.00
2022年12月期		22.00			
2022年12月期(予想)				22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 特別配当2円00銭

2021年12月期期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 特別配当2円00銭

### 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,588	8.3	14,918	8.5	18,024	29.2	12,573	24.5	146.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2022年11月11日)公表いたしました「2022年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	94,259,400 株	2021年12月期	94,259,400 株
期末自己株式数	2022年12月期3Q	8,743,829 株	2021年12月期	8,094,386 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	85,843,377 株	2021年12月期3Q	86,637,649 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍後の急速な景気回復に伴う需要の増加による物価の上昇や、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー供給の不安などにより、将来の不確実性は増しております。一方、国内においては、原材料価格の上昇や部品の調達難等により、回復は鈍化しております。

このような事業環境の中、3つの事業全て増収となり、また、営業利益も増益となりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、36,100,208千円（前年同期比7.9%増）、営業利益は、11,894,028千円（前年同期比7.0%増）、経常利益は、14,694,739千円（前年同期比30.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、10,208,569千円（前年同期比26.1%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

#### (歯科事業)

歯科事業の売上高については、国内において、前年同期の歯科医院への政府の感染防止対策給付金の交付の影響による需要の増加による反動により減収となり、また、アジアにおいても横ばいとなりましたが、北米で大幅増収となり、また欧州においても増収となり、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、30,301,499千円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は、12,727,332千円（前年同期比4.5%増）となりました。

#### (外科事業)

外科事業の売上高については、アジアで減収となりましたが、国内、北米及び欧州で増収となり、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、2,393,080千円（前年同期比17.2%増）、セグメント利益は、1,233,333千円（前年同期比20.9%増）となりました。

#### (機工事業)

機工事業の売上高については、アジアで減収となりましたが、国内、北米及び欧州は増収となり、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、3,405,627千円（前年同期比24.0%増）、セグメント利益は、1,310,459千円（前年同期比28.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産の残高は、100,926,970千円で、前連結会計年度末に比べ6,466,050千円増加いたしました。主な要因は、建物及び構築物が1,851,924千円、関係会社株式が1,555,285千円並びに原材料及び貯蔵品が1,361,299千円増加したこと等によるものです。

負債の残高は、10,200,790千円で、前連結会計年度末に比べ1,340,655千円減少いたしました。主な要因は、流動負債のその他が1,470,458千円減少したこと等によるものです。

純資産の残高は、90,726,180千円で、前連結会計年度末に比べ7,806,706千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が6,600,186千円及び為替換算調整勘定が2,857,689千円増加したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の業績予想については、2022年5月12日に公表した通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

## 通期

	金額	対前期増減率 (%)
売上高	48,588百万円	8.3
営業利益	14,918百万円	8.5
経常利益	18,024百万円	29.2
親会社株主に帰属する当期純利益	12,573百万円	24.5

詳細につきましては、本日（2022年11月11日）公表いたしました「2022年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,984,340	35,338,584
受取手形及び売掛金	5,348,771	5,780,304
有価証券	1,422,099	1,325,357
金銭の信託	4,341,163	4,212,205
商品及び製品	5,822,666	6,472,996
仕掛品	3,286,853	3,893,871
原材料及び貯蔵品	2,623,642	3,984,941
その他	1,382,650	1,999,963
貸倒引当金	△60,452	△83,201
流動資産合計	60,151,734	62,925,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,431,241	17,283,165
機械装置及び運搬具	7,486,174	8,142,199
工具、器具及び備品	5,205,578	5,589,807
土地	2,033,155	2,152,553
建設仮勘定	962,539	708,784
減価償却累計額	△15,825,871	△17,112,526
有形固定資産合計	15,292,817	16,763,984
無形固定資産		
ソフトウェア	377,341	719,843
ソフトウェア仮勘定	320,598	191,793
のれん	108,442	69,159
その他	538,570	465,294
無形固定資産合計	1,344,953	1,446,091
投資その他の資産		
投資有価証券	8,692,157	8,642,135
関係会社株式	4,866,102	6,421,388
保険積立金	2,122,292	2,134,278
退職給付に係る資産	—	428
繰延税金資産	940,349	1,361,018
その他	1,051,965	1,234,158
貸倒引当金	△1,452	△1,538
投資その他の資産合計	17,671,414	19,791,869
固定資産合計	34,309,185	38,001,945
資産合計	94,460,919	100,926,970

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,009,312	1,538,472
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	2,529,830	2,190,474
賞与引当金	909,596	656,472
その他	6,045,854	4,575,395
流動負債合計	10,594,594	9,060,815
固定負債		
退職給付に係る負債	342,260	356,534
繰延税金負債	412,271	586,206
その他	192,319	197,234
固定負債合計	946,851	1,139,975
負債合計	11,541,446	10,200,790
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,180,482	1,180,482
利益剰余金	84,765,333	91,365,519
自己株式	△6,793,803	△8,293,951
株主資本合計	80,019,961	85,119,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,843,974	1,643,736
為替換算調整勘定	819,197	3,676,887
その他の包括利益累計額合計	2,663,172	5,320,623
新株予約権	232,552	278,685
非支配株主持分	3,786	6,871
純資産合計	82,919,473	90,726,180
負債純資産合計	94,460,919	100,926,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	33,469,106	36,100,208
売上原価	12,995,253	13,015,788
売上総利益	20,473,852	23,084,419
販売費及び一般管理費	9,360,083	11,190,391
営業利益	11,113,769	11,894,028
営業外収益		
受取利息	59,485	63,175
受取配当金	26,945	32,600
金銭の信託運用益	161,570	—
補助金収入	32,133	35,927
持分法による投資利益	226,361	294,604
為替差益	—	2,593,827
雑収入	90,730	146,071
営業外収益合計	597,227	3,166,206
営業外費用		
支払利息	2,589	2,537
金銭の信託運用損	—	312,483
支払手数料	2,489	7,547
為替差損	422,043	—
雑損失	17,614	42,926
営業外費用合計	444,737	365,495
経常利益	11,266,259	14,694,739
特別利益		
固定資産売却益	—	66,628
投資有価証券売却益	17,087	—
特別利益合計	17,087	66,628
特別損失		
固定資産売却損	—	32,219
固定資産除却損	312	9,006
減損損失	—	326,348
特別損失合計	312	367,573
税金等調整前四半期純利益	11,283,034	14,393,794
法人税、住民税及び事業税	3,542,981	4,432,428
法人税等調整額	△357,132	△249,019
法人税等合計	3,185,848	4,183,408
四半期純利益	8,097,185	10,210,385
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,116	1,816
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,096,069	10,208,569



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	8,097,185	10,210,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△146,131	△200,237
為替換算調整勘定	620,553	2,858,957
その他の包括利益合計	474,422	2,658,719
四半期包括利益	8,571,607	12,869,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,570,405	12,866,020
非支配株主に係る四半期包括利益	1,202	3,084

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

## （会計方針の変更）

## （収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日）第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

これにより、販売奨励金等の顧客に支払われる対価は、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によりおりましたが、売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、第3四半期連結累計期間の売上高は80,690千円減少し、販売費及び一般管理費は80,690千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に対する影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

## （時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	歯科事業	外科事業	機工事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,679,079	2,042,629	2,747,397	33,469,106	—	33,469,106
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	28,679,079	2,042,629	2,747,397	33,469,106	—	33,469,106
セグメント利益	12,177,407	1,020,082	1,023,696	14,221,187	△3,107,418	11,113,769

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	歯科事業	外科事業	機工事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,301,499	2,393,080	3,405,627	36,100,208	—	36,100,208
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	30,301,499	2,393,080	3,405,627	36,100,208	—	36,100,208
セグメント利益	12,727,332	1,233,333	1,310,459	15,271,125	△3,377,096	11,894,028

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「歯科事業」セグメントにおいて170,353千円、「外科事業」セグメントにおいて38,182千円、「機工事業」セグメントにおいて38,182千円、報告セグメントに配分していない全社資産において79,628千円、それぞれ固定資産の減損損失を計上しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来「歯科製品関連事業」に含まれていた「外科事業」について金額的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、従来「その他事業」としていた修理事業を、「歯科事業」、「機工事業」及び「外科事業」のそれぞれの該当する事業に含める方法に変更しております。

上記セグメント区分の変更は第1四半期連結会計期間より実施しておりますが、第1四半期連結会計期間において「歯科製品関連事業」、「工業製品関連事業」及び「サージカル製品関連事業」としていたセグメント名称を、第2四半期連結会計期間においてそれぞれ「歯科事業」、「機工事業」、「外科事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分及び名称により作成したものを記載しております。

（会計方針の変更）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しています。当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「歯科事業」の売上高が80,690千円減少しています。なお、セグメント利益に与える影響はありません。